

# ファイバ中の非線形光学 効果応用の新しい展開

日時：2023年9月12日（火）13:00～16:00

開催：名古屋大学（東山キャンパス）IB013室

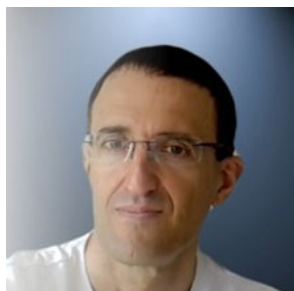
ファイバ中の非線形光学効果は、超高速の全光信号処理や、広帯域の光増幅など、他のデバイス・媒体では実現することが困難な機能をシンプルに実現できる物理効果として期待されており、様々な研究がなされてきた。最近では、ポスト5G時代の通信・センシングシステムでの利用を目指したファイバ非線形応用の先端的提案がなされている。本セッションでは、ファイバ非線形光学効果の新たな応用や計測技術等について議論を深める。

# 講演者紹介



大石泰丈 先生

1980年東北大学大学院理学研究科修士課程修了, 1988年工学博士 東京工業大学, 1980年電電公社(現NTT)入社, 2002年豊田工業大学 主担当教授, 2013年同大学 副学長, Optica Fellow



Dr. Mark Pelusi

Mark Pelusi has held various research positions in academia and industry on high bit rate optical fiber communications and nonlinear signal processing. He is currently a Senior Researcher at AIST, Japan.



石村昇太 様

2015年KDDI入社後、auひかり保守運用業務を経て、2016年からKDDI総合研究所にて、光ファイバー無線・マイクロ波フォトニクスの研究に従事。現在は、非線形光学、光デバイス、光コンピューティングなどの研究に従事。



高坂繁弘 様

1999年 光散乱を用いた構造相転移研究で博士(理学)を取得。2002年 古河電工に入社し、波長変換、光パルス圧縮等の高非線形ファイバ応用技術の開発に従事。2011年 光パラメトリック増幅における疑似位相整合技術を提案



赤坂洋一 様

工学博士(東京大学)'93~古河電工にてスロープ補償DCF、ラマン増幅用波長多重ポンプの開発に従事。'98~Stanford大学客員研究員、'01~米国キャリア Sprint、'05~米国富士通にて光ネットワークに向けた先端技術の開発に従事。'95 IEICE学術奨励賞



武居弘樹 様

1994年大阪大学基礎工学部卒業。1996年同大学院基礎工学研究科博士前期課程修了。2002年博士(工学, 大阪大学)。1996年NTT入社。現在NTT物性科学基礎研究所 上席特別研究員。